

特集 乳酸菌・ビフィズス菌・乳酸菌生産物質

## 殺菌乳酸菌「AD101株」配合ドリンク 『コッカスドリンクゴールド』をリニューアル アドバンス

(株)アドバンス(東京都中央区)は、殺菌乳酸菌『AD101株』を配合した飲料製品『コッカスドリンクゴールド』について、パッケージリニューアルし、新発売した。

同品は、1瓶50mlあたり、「AD101株」(エンテロコッカス・フェカリス)を500mg、「AD302株」(ラクトバチルス・ロイテリー)を500mgと高配合し、さらに酵母エキスを加えた清涼飲料水。日々の健康維持を目的に体感の強いドリンクとして、通販をはじめとしたルートで支持を集めているロングセラー品。リニューアル品は、白とオレンジを基調としたデザインに一新し、明るいデザインに仕上げた(写真上)。

また今秋より、粉末タイプの『AD株マジック』についてもリニューアル発売する。リニューアルに伴い、従来品に



配合している菌末3種「AD101株」「AD302株」「AD206株」に加え、新たに「AD601株」を追加し4種類に。含有する菌数は1包あたり従来品の6,000億個から、1兆2,000億個と倍増した。また、内容量も15g(0.5g×30包)から30g(1g×30包)に増量し、より体感性の強い商品設計に変更した(写真下)。

同社は1973年に健康関連商材のベンチャー企業として創業。創業者の浦壁伸

周氏がストレプトコッカス・フェカリス(現エンテロコッカス・フェカリス)の一種に、動脈硬化の要因とされるコレステロールや血中トリグリセライドの低下作用があることを突き止め、同年、腸内細菌サプリメント「コッカス菌AD101株」を世界に先駆けて開発した経緯を持つ。

「AD101株」は健康なヒトの腸内細菌から分離され、より活性を高める為に特殊熱水処理を行った死菌体。加熱処理によってヒートショックプロテインなどのグロースファクターが放出されることで、体内摂取後、他の腸内細菌の増殖能をより高め、より多様性をもたらすことを確認している。

菌末のラインアップは「AD101株(Enterococcus faecalis)」の他にも当社では「AD302株(Lactobacillus reuteri)」「AD206株(Lactobacillus acidophilus)」、「AD601株(Streptococcus salivarius)」の計4種。

同社社長の浦壁初栄氏は「健康食品のみならず一般の食事からも手軽に有用菌を摂取して欲しい」としており、今回リニューアルする粉末品もその一環として開発。スープやカレーなどに配合できるほか、パンやケーキなどに練り込み、高温で焼き上げても活性を維持することを確認済み。同社では、中食や外食シーンに向けた協業による展開や、OEM供給についても今後積極的に展開していくとしている。

